

關原等ガ、參河遠江ト地相接セリ、眞ニ此處ハ天下ノ要地ナリ、昔此處ニテ千軍萬馬ガ馳
セ驟ヒシ戰ヒシサマヲ想ヒ見ルナリ、今江戸ニテ邸第ヲ布キ列ヌル諸侯伯ノ祖先ハ、皆嚮
背ヲ此處ニテ決定セシナリ

●(析義)目前ノ在リ様ヲ觀望シテ古ヲ想起シ、論端ヲ發セシナリ

蓋源平以還。治少亂多。群雄碁峙。分裂梗塞。不知其閱幾百歲。而
今吾緩帶垂橐。不齎糧而行焉。則誰之力邪。

○(解釋)碁峙トハ碁石ヲマキシ如クアチコチニ割據スルサマナリ、梗塞ハ二字トモフサガ
ルノ義ニテ、平治セザルコトナリ、閱ハ歷ルナリ、緩帶垂橐ハ梗塞ノ反對ニテ帶ヲ緩メ橐ヲ
垂レ、何ノ仕度モナク行クコト、太平ヲ狀ス、

●(講義)蓋シ源平以來治世少クシテ亂世多シ、群雄ハ各處ニ割據シ、國ハ分レ裂ケ、政治
ハ蹇リ、治平セザルコト其幾百年ヲ歷シカヲ知ラザルナリ、シカルニ今吾ガ緩帶垂橐シテ
何ノ用心モナク糧ヲモ齎サズシテブラ〜行クモ、何ノ恐レモナシ、カク安樂ノ世ニナリ
シハ誰ノヲ蔭ナルヤ則德川公ノ力ナリ

●(析義)前段ハ今ヨリ古ヲ呼ビ、此處古ヨリ今ヲ描キ、終ニ其功ヲ德川氏ニ歸シタルナ
リ

世論者或病大坂之事爲累東照公之德。是不知時勢之論也。吾

曰公之取天下不在大坂而在於關原。不在關原而在於小牧。

○(解釋)大阪之事トハ家康ノ大阪ヲ攻メ落シ豊臣秀頼ヲ殺セシヲ云フ、東照公ハ家康ノコ
ト關原ハ石田三成輩ノ西軍ト戰ヒ勝チシヲ云フ、小牧ハ織田ノ孤子ヲ奉ジテ秀吉ト戰ヒ勝
チシヲ云フ

●(講義)世ノ論者ハ或ハ家康ノ大阪ヲ攻メ落セシコトヲ病ミテ、是レ主君太閤ノ孤子ヲ殺
シテ天下ヲ奪ヒ取リシニテ、家康ノ德ノ累イナリト爲ス、是ハ時勢ヲ知ラザルノ拙論ナリ、
吾ハ論ジテ曰ハシ、家康ノ天下ヲ取リシハ、大坂ノ戰ニアラズシテ、其以前ノ關原ノ戰ニ
テ天下ハ既ニ家康ニ歸シタルナリ、イヤ〜關原ノ戰ニモアラズシテ、其以前ノ小牧ノ戰
ニテ天下ハ既ニ家康ニ歸シタルナリ

●(析義)世ノ家康ヲ排論スルモノハ、皆大坂ノ事ニアリ、賴氏ハ家康ノ天下ヲ得タルハ小
牧ノ戰ニアリテ大坂ニアラズト斷ジ、以下之ヲ詳論シテ之ヲ辨護スルナリ

夫公織田氏屬國也。而太閤其將校也。太閤以織田氏將校起身。
乃欺其君之遺孤。欲加之以兵。諸同列畏其力。私其惠。逡巡而莫
敢爭。而公獨毅然扶弱而抗強。野次一戰。獲其一驍將。固足以破
奸雄之膽。而服天下之心。

○(解釋)君之遺孤ハ信長ノ遺子信雄ノコト、毅然ハ剛毅ノ貌、扶弱抗強ハ弱キ信雄ヲ扶

助シテ強キ秀吉ト抗戰スルヲ云フ、野次一戰ハ小牧ノ戰ヲ指ス、二驍將ハ秀吉ノ將池田信輝森長可ノ二人ナリ

●(講義)夫レ家康ハ織田氏ノ屬國ノ主ナリ、而シテ太閤ハ織田氏ノ將校ノ身ヨリ起リ、君ノ恩ヲ忘レ其遺孤信雄ヲ欺キテ之ニ兵ヲ加ヘントセシガ、當時諸同列ノモノ共其勢力ヲ畏レテ其私惠ヲ喜ビ、グズクシテ敢テ張合ヒ争フモノナシ、而ルニ家康ハ獨毅然ト弱キヲ扶ケ強キニ抗シ、次ノ一戰ニテ其驍將二人迄ヲ獲タリ、此一戰實ニ奸雄秀吉ノ膽ヲ破リテ、天下ノモノ皆其義氣アルニ感シ其剛勇ナルニ畏レテ我ニ服從セシムルニ足レリ

●(析義)此段ヨリ以下皆上ノ在ニ於小牧ノ一句ヲ詳論セルナリ、此處家康ノ義俠ト剛勇トヲ説ク、野次一戰服ニ天下之心ハ即チ取ニ天下ニ在ニ於小牧ノ意

當是之時太閤所據不過近畿諸州瓦合鳥集人懷觀望而公以參遠膠漆之民加以甲信之精銳勳舊忠義如雲如雨使和親不成兩姓構兵天下之事未可知也

○(解釋)瓦合鳥集ハ瓦ノ合フ如ク鳥ノ集リタルガ如ク、一時集合シテモ又離散シ易キヲ云フ、膠漆トハニカワウルシデ固メタル如ク、主從心ノ堅ク合ヒタルヲ云フ、前ノ瓦合鳥集反對ナリ、如シ雲如雨トハ多人數ノ貌、兩雄ハ豊臣德川ノ二氏、

●(講義)是ノ時ニ當リテ太閤ノ據有スル所ハ、近畿ノ諸國ノミ、シテ其將士モ皆固結セザルコト瓦合鳥集ノ如シ、人々皆戰ヲ傍ヨリ觀望シテ、強キ方ニ見方セントノ心ナリ、而ル

ニ德川氏其ト引換ヘ、參河遠江ノ膠漆ノ如キ我ニ固結セル民ヲ以テ、之ニ加フルニ甲斐信濃ノ精シキ銳キ將士ヲ率ヒ、勳功アル舊臣忠義ノ人々、雲カ雨ノ如ク大勢アレバ、當時モシ和親ガ叶ハズシテ、兩姓兵ヲ構ヘドコマデモ兵力ニテ勝負ヲ決セシメバ、天下ノ事如何ナル結果ヲ見シカ未ダ知ルベカラザルナリ、即チ豊臣ハ亡滅シテ德川氏ガ直ニ織田ノ後ヲ斷シナラン

●(析義)小牧ノ戰ハ天下ノ心ヲ服セシノミナラズ、當時モシ此戰ヲドコマデモ仕續ケバ、家康ハ直チニ織田ノ跡ヲ取リテ天下ニ令シ、太閤ハ一奸將ノ功ナラズシテ滅亡セシモノニ過ギズト、前段ヨリ歩ヲ進メテ論辨セルナリ

昔者曹操謂劉立德天下英雄唯君與我於本初輩不足論今以太閤視柴田勝家等猶操之於本初而其憚公也不啻立德宜其卑辭厚禮百方講和是太閤至計所以速取天下而天下之權已在於德川氏矣何哉我戰勝而彼求和求者在彼許者在我我欲和則和欲戰則戰安危禍福一取決於我我不已有天下之權也邪

○(解釋)曹操字ハ孟德、支那漢末ノ姦雄ナリ、所謂三國魏ノ曹操是ナリ、今借リテ太閤ニ比ス、劉立德ハ名ハ備、蜀ノ劉備是ナリ、家康ニ比ス、袁本初名ハ紹、曹操ト戰ヒ敗死セ

シ人ナリ、柴田勝家等ニ比ス、至計ハ至極善キ計略ナリ

●(講義)昔曹操ガ劉玄德ニ、今ノ時ニ當リ天下ノ英雄ハ唯君ト私斗リダ、袁本初ノ輩ハ一向畏ルニ足ラズシテ論ニモナスト言ヒコトアリ、今太閤ノ眼ヨリ柴田勝家等ヲ視レバ、猶曹操ガ袁本初ヲ視ルト同然ニテ論ズルニモ足ラザルモノト思ヒシナラン、而シテ太閤ガ家康ヲ畏レ憚リシハ、曹操ガ劉玄德ヲ畏レシ位ノコトデハナク、モット憚リテ居リシナラシ、尤ナルカナ太閤ガ辭ヲ卑クシ禮ヲ厚フシ、色々トシテ和議ヲ講セシナリ、太閤ガ徳川ト和議ヲ講セシハ、太閤ノ最モ妙計ニテ、速ニ天下ヲ取ルコトヲ得シ所以ナリ、而シテ又此和議ヨリシテ天下ノ權ハ己ニ家康ニ歸シタリケリ、ソレハ何故カト云フニ、家康ハ戰勝テ而シテ太閤ヨリ和議ヲ求メタルナリ、求メ頼ミタルハ太閤ニテ、許シ遣シタルハ家康ナリ、故ニ家康ノ方デハ和セヨウト戰フト我次第ナリ、安危禍福トモ皆我次第ニテ決定スルナリ、シテ見レバ我ナル家康ハ當時己ニ天下ノ有ラ權セシニハアラズヤ

●(析義)和議ノ點ヨリ求ムト許ストノ二字ヲ取テ、權ノ所在ヲ論シ、益々公之取天下在小牧ノ論ヲ固ム

唯夫權在於我。是以班爵之崇。封土之隆。不得不置之天下。侯伯之右。太閤末路。兵連于外。士亂于内。而莫之能定。能定之者。公而已矣。太閤一瞑。制馭天下者。非公而誰。是其勢不待智者而後知。特未有覺耳。

○(解釋)班爵之崇トハ、班ハ列ナリ、崇ハ高ナリ、高位ニ列スルヲ云フナリ、隆ハ大ノ意、右ハ上ノ義ナリ、末路ハ晩節ト云如ク死ニ近キコトナリ、兵連于外ハ、征韓ノ事ヲ付ス、公而已矣ハ而已矣ノ三字ヲ連テタルハ強ク云ヒシナリ、一瞑ハ瞑ヲ閉ルコト即チ死ナリ、馭ハ御ト同ジ、馬ヲ使フガ如ク國ヲ治ムルコトナリ、覺ハ隙ナリ

●(講義)唯夫レ天下ノ權ガ己ニ家康ニアルヲ太閤ノ爲任ゲテ從ヒ居ルナリ、是ヲ以テ太閤ガ爵位ヲ列子分ツニモ、家康ヲ最モ高貴ノ地ニ置カザルベカラズ、封土ヲ分チ與フルニ最モ美大ノ地ヲ算ヘザルベカラズ、其待遇凡テ天下諸公伯ノ上席ニ置カザルヲ得ザルコト、ナレリ、故ニ太閤ノ末路ニ至リ、兵ハ外國ニ遣リ、國內爲ニ騷擾シテ、土ハ邦内ニ亂レタリ、此際之ヲ能ク平定スルモノナシ、能ク平定スルコトノ出來ルハ、諸公伯ノ上ニ位セル此家康アル斗リナリ、太閤ノ世ニアルトキサヘ此ノ如シ、況シテ太閤ガ一タビ目ヲ閉ヂタル以上ハ、天下ヲ制御スルコトノ出來ルモノ果シテ誰ゾ、家康ヲ除キテ外ニ其人ナキナリ、是レ自然ノ勢ナリ、分リ易キコトナリ、智者ヲ待テ而ル後初テ知レル如キ六ヶ敷コトニアラザルナリ、天下ヲ制御スル勢ハ自然トアレドモ、貌ハ矢張り豊臣氏ニマダアレバ、特ニ未ダ其貌ヲモ并セ有スルノ間隙カアラザルナリ

●(析義)權ガ我ニアルカラ、爵位モ封土モ固ヨリ諸公伯ノ上ニアリ、諸公伯ノ上ニアレバ、太閤一タビ暝セハ諸公伯ヲ制御シ得ラル、コト本ヨリ當然ナリ、然シ太閤モ死ナレタル以上ハ本ヨリ我レガコレカラ天下ヲ制御致スベシト、自分ヨリ言ヒダス譯ニモマイラサルナリ、ト論シ後段ニ其言ヒダス機會ノ起リシヲ説ク、

關原之事。是群雄相聚。推天下而貽德川氏者也。何則。彼自開釁而使我乘之。我有辭於天下。天下誰能禁之。於朝廷授之上將之任。以統天下侯伯。會同朝聘。莫不於東。則大坂徒一侯國之坐食者耳。

○〔解釋〕貽ハ贈獻ノ意ナリ、乘ハツケコムノ意ナリ、聘ハ四時ノ獻物ナリ、坐食ハイグイナリ、

○〔講義〕關原ノ戰ハ、西軍ノ群雄ガ、相聚リテ天下ヲ推シ上ゲ、是非天下ヲ御取リ下サレタシテ、德川氏ハ貽リ献上ニ來タルモノナリ、何トナレバ家康ヨリハ天下ヲ下サレトモ戰フトモ、未ダ何トモ口出サルニ、彼兩軍ノ群雄ヨリ自ラ喧嘩ヲシカケ釁隙ヲ開キ、而シテ我ヲシテ之ニ乘リカ、ツテ天下ヲ取ラシメタルナリ、故リ彼ガ始メテ我ハ應ジタルモノナレバ、我ハ天下ニ十分ノ言ヒ分アリ、天下ノモノ誰カ能ク之ヲ禁ジ止メンヤ、是ニ於テ朝廷ヨリ家康ニ上將軍ノ職任ヲ授ケ、以テ天下ノ諸侯伯ヲ統一セシメ、會同スルモ、朝聘スルモ、皆東德川ニ於テセザルハナシ、此クナルトキハ大阪ハ徒ニ一侯國ノ何ノ職ニモ供セズシテ坐シテ食セルモノ、ミ、

○〔標義〕前ノ特未有釁ノ句ヲ承ケテ、關原ノ戰ハ即チ德川氏ノ爲メ此釁ヲ開キタルナリ、從テ豐臣氏ハ西者ノ資格ヲ失ヒタリ

公已不忍織田氏之孤。寧復忍於豐臣氏之孤乎。蓋思有以善處

之。而彼不察焉。專挾猜疑。再自開釁。而速其覆滅。於公何累焉。

○〔解釋〕挾ハ抱クノ如シ、猜モ疑ナリ、速ハ招ナリ、

○〔講義〕家康公ハ先キニ織田氏ノ孤信雄ヲ扶ケザルニ忍ビズシテ、之ガ爲メニ奔走セラレタリ、然ラバ今寧ゾ復豐臣氏ノ孤秀頼ニ於テ、之ヲ殺スニ忍ビンヤ、家康ノ心蓋シ以テ善ク之ヲ處置セント思シ居リシニ、而ルニ彼方ニテハ家康ノ心ヲ察セズシテ、專ラ疑心ヲ抱キ、再ビ自ラ釁隙ヲ開キテ、其覆リ滅ブルノ禍ヲ速キ作りタルナリ、先方ノ自ラ作りタル禍ナレバ家康ノ德ニ於テ何ニモ累トスルニタラザルナリ

○〔標義〕前ノ或病ニ大阪之事ニ爲レ累ニ東照公之德ノ句ヲ駁シテ、是大阪ノ自ラ作りタルコト、於レ公何累焉ト論シ去ル、賴翁ハ德川氏ノ世ニアリテ作りタル論ナレバ此ク辨護セシナリ、翁ヲシテ今ニアラシメバ、又別ニ論ズル所モアリシナラン、

公之雄武老鍊。雖太閤非其所畏。況於當時群雄。直兒童視之。而何有於驕婦駭孺哉。而謂公蓄謀積慮。而斃之。皆不知時情者也。

○〔解釋〕驕婦ハ淀君、駭孺ハ秀頼ヲ指ス

○〔講義〕家康ノ雄武ニシテ兵畧ニ老鍊ナルコトハ、太閤タリト雖ドモ家康ノ畏ル、所ニアラザルナリ、況ンヤ當時ノ群雄ニ於テハ、家康ノ眼中直ニ之ヲ兒童ノ如ク視下シ居ルナリ、而ルヲ淀君ヤ秀頼ニ於テ何カアランヤ、氣ニ止メルニ足ラザルナリ、而ルニ世ノ論者ハ公ガ謀畧ヲ蓄ヘ思慮ヲ積ミテ之ヲ斃セシト謂ヘルハ時情ヲ知ラザルモノナリ

●〔標義〕前ノ是不知時勢之論也ノ句ヲ證ス

公自少小轉質隣國已極艱虞及其主國又接境勁敵百戰爭鋒寸攘尺取纔定五州而織田豐臣氏以其間奄有近畿暴致強大蓋無不以公爲遲鈍而不知天之所以成公乃在於是二氏之於天下唯速得之故速失之公未嘗急於取天下也而天下之變每足以開公嗚呼是其所以長有天下以基今日之盛業也歟

○〔解釋〕轉質隣國トハ、今川氏織田氏ニ質トナリシヲ云フ、艱ハナンギ虞ハ心配ナリ、接境勁敵トハ、武田氏ト隣國ナルヲ云フ、寸尺ハ土地ヲ指シテ云フ、攘モ取ナリ、五州ハ參河、遠江、駿河、甲斐、信濃ノ五國、奄ハ掩ナリ、奄有ハ殘ラズ取ルコト、遲鈍ハグズクシテ敏ナラサルヲ云フ

●〔講義〕家康ハ未タ幼少ノ頃ヨリ、隣國ヘアチコチト質ニ取ラレ居リ、己ニ艱難憂慮ヲ極メタリ、其後參河ヘ歸リ國主トナルニ及ビテ、又武田氏ナル頸キ敵ト國境ヲ接ヘ居レバ、百度モ戰フテ兵鋒ヲ争ヒ、一寸取リ一尺取リシテ、終ニ五ヶ國ヲ平定スルコトヲ得タリ、而シテ、織田豐臣二氏ハ、其間ヲ以テ近畿ノ國々ヲ殘ラズ取リ有ツコトナリ、俄ニ國ヲ強大ニ致セシ、二氏ハ蓋シ家康ヲ以テ遲鈍ナル人物ダト笑ヒ居リシナラン、知ラズ天ガ家康ノ業ヲ成就セシムル所以ハ乃チ是ノ遲鈍ニアルヲ、何トナレバ二氏ノ天下ニ於ケル、唯急速

ニ取リ得タリ、故ニ又急速ニ之ヲ失ヒタリ、家康ハ未タ嘗テ天下ヲ取ルコトヲ急ガザルナリ、緩々トシテ天下ノ大勢ヲ見物シテ居ル間ニ、天下色々ト罅隙ヲ生シ、毎ニ家康ノ業ヲ開キ導クコト、ナレリ、嗚呼天下ヲ遲鈍ナリシガ即チ其長ク天下ヲ有テテ以テ今日ノ如キ、盛大ナル、覇業ヲ基セシ所以ナルカ

●〔拆義〕織田豐臣ノ二氏ハ速ニ天下ヲ取リ得タリ、故ニ速ニ亡ブ、徳川氏ハ遅ク天下ヲ受ク得タリ、故ニ長ク亡ビズト、是實ニ三氏ヲ評シテ當テ得タルモノナリ、

毛利氏ヨリ後都合アリテ、校正者ニ變更アリ、行文聊カ異ナル所アラン、讀者之ヲ諒セヨ

明治廿五年十月廿五日印刷
 同 同 年十一月五日出版
 同 廿六年二月 再版
 同 同 五月六日 印刷并二改
 同 廿五年十一月六日 正三版發行
 內務省許可
 編輯者
 發行者



定價貳拾錢

新橋牧之助
 東京市日本橋區蠣壳町
 三丁目五番地寄留

印刷者 法木留藏

東京市日本橋區蠣壳町
 三丁目五番地

印刷所 (電話架設中) 法木印刷所

東京市日本橋區蠣壳町
 三丁目五番地

發賣所

東京市日本橋區
通油町拾八番地

水野書店

同

同京橋區南傳馬町
三丁目

目黑書店

同

同神田區
表神保町三番地

東京堂

同

同同區
裏神保町壹番地

上田屋雜誌店

同

同京橋區尾張町
二丁目廿六番地

東海堂

同

同同區
彌左衛門町七番地

巖々堂

同

同日本橋區本石町
二丁目拾六番地

上田屋書店

同

同同區小網町
四丁目三番地

信文堂

同

同同區新大坂町

小林喜右衛門

同

同通一丁目

太倉書店

同

同同區彌売町
三丁目五番地

法木書店

發賣所

東京市日本橋區
通油町拾八番地

水野書店

同

同 東京橋區南傳馬町
三丁目

目黒書店

同

同 神田區
末神保町三番地

東京堂

同

同 神保町壹番地

上田屋雜誌店

同

同 京橋區尾花町
二丁目廿六番地

東海堂

同

同 同 彌左衛門町七番地

巖々堂

同

同 日本橋區本石町
二丁目拾六番地

上田屋書店

同

同 同 區小網町
四丁目三番地

信文堂

同

同 同 區新大坂町

小林喜右衛門

同

同 通一丁目

大倉書店

同

同 同 區麴町
三丁目五番地

法木書店

●法木書屋發行書目廣告

(電話(架設中)號)

小舟小永井
先生講述
論語講義

和綴全四冊紙數五百八十
五丁正價八十錢稅十六錢

右章意一章ノ大
意ヲ記
字義

直解 全章ヲ
總說ス二二項
ニ分チ先生後進學士ノ爲メニ
詳細ニ講述セシ良書也

大學中庸講義

第三版全壹冊稅共金九錢
土淡堂 先生 山陰下森先生著

本書
字解

土田淡堂 先生ノ緻密ナル校閲セラレ
他ニ比類ナキ良本ナリ

奉讀式用
寒夜重衾
教育勅語
製却歌

立壹尺貳寸橫貳尺三寸余
立壹尺八寸橫壹尺貳寸余

共ニ美麗ノ石版摺ニテ各一枚金四錢郵稅二錢也●十枚以上ヨリハ二割引●稅三枚迄金二錢

教育勅語 高貴御像附一枚

一枚金一錢五厘
郵稅十枚迄二錢
一枚正價金一錢
郵稅十枚迄二錢
共ニ美麗金梓附
石版摺 各立八寸五分
橫一尺五分ナリ

右ハ二種共學校ニテ賞典用ニハ適當ノ品ナリ十枚以上二割引百枚以上三割引ナリ

日本政記論文講義

全壹册近刊四百ページ
正價金三十錢郵稅四錢

本書ハ外史講義ノ体裁ニ同シク講義中ニ字解故典ハ別ニ「印」ヲ設ケ解シ易ク難字ニハ仮名ヲ附シ本文ノ誤字点等ハ悉ク訂正シ文法ハ一大段毎ニ詳解シタル學士必用ノ良書也

修身譚二十四孝

繪入美製全壹册金五錢
郵稅貳錢(十部以上御購入ノ分ハ二割引)

右ハ漢土にて有名な廿四孝傳を各書より就き詳細に編纂し繪を挿入せし學生有用の書也

每年御重寶

全壹册金貳錢郵稅貳錢

此書は廿六年新舊畧曆●郵便規則并ニ貯金心得

小包郵便法●證券印稅規則并ニ手形法●電信規

則●登記証印稅法●各國度量比較表●各地方應ニ里程●新聞雜誌定價一覽●全國鐵道通車

幼年の友文叢

每月壹回發行壹部貳錢
稅五厘十部前金十八錢

●登記証印稅法●各國度量比較表●各地方應ニ里程●新聞雜誌定價一覽●全國鐵道通車

發着時間并ニ賃金表●其他十數の項ナル人民必用ノモノヲ記載セシ實ニ重寶ノ書ナリ

學生諸子

投稿ニ關ス

格言

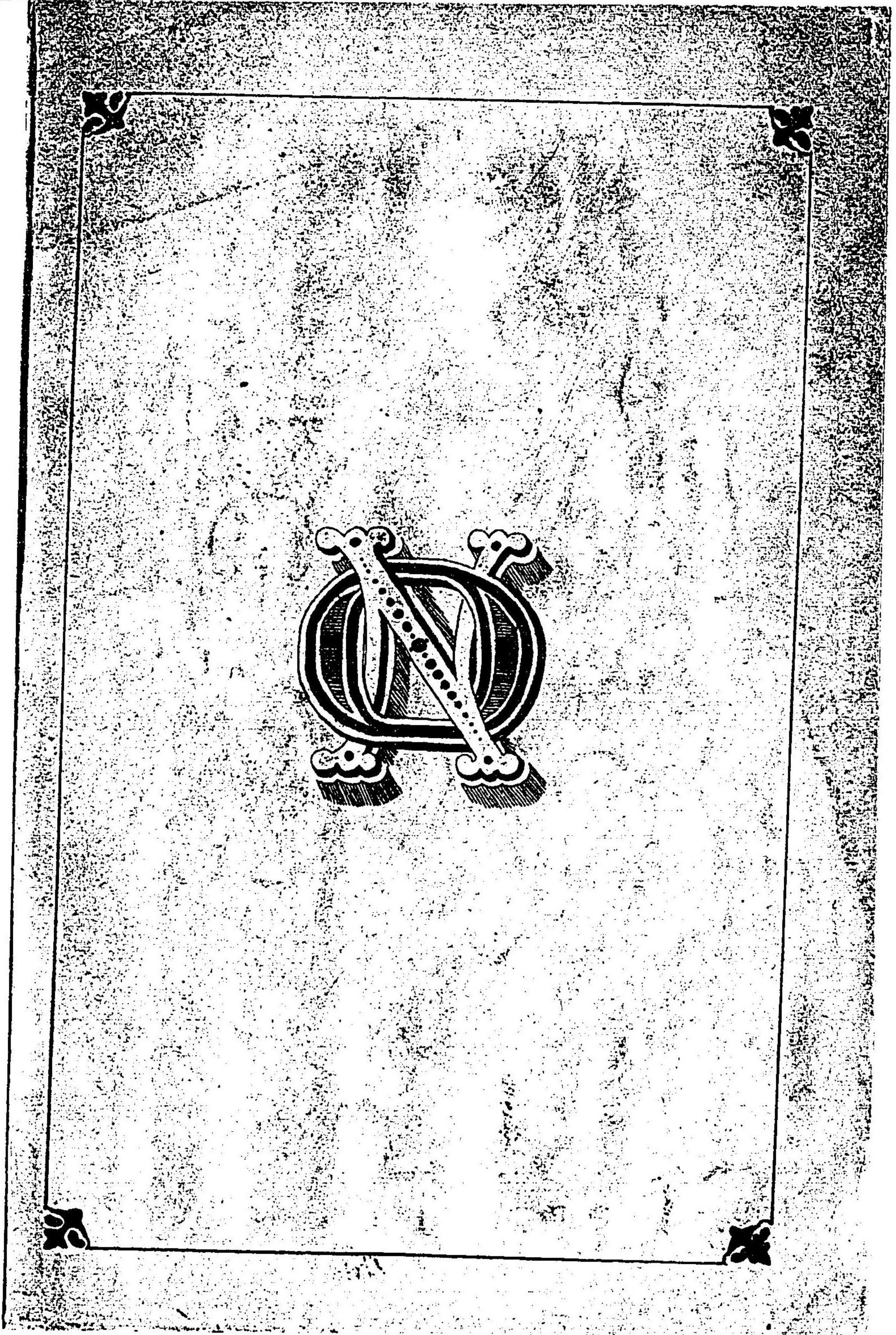
又

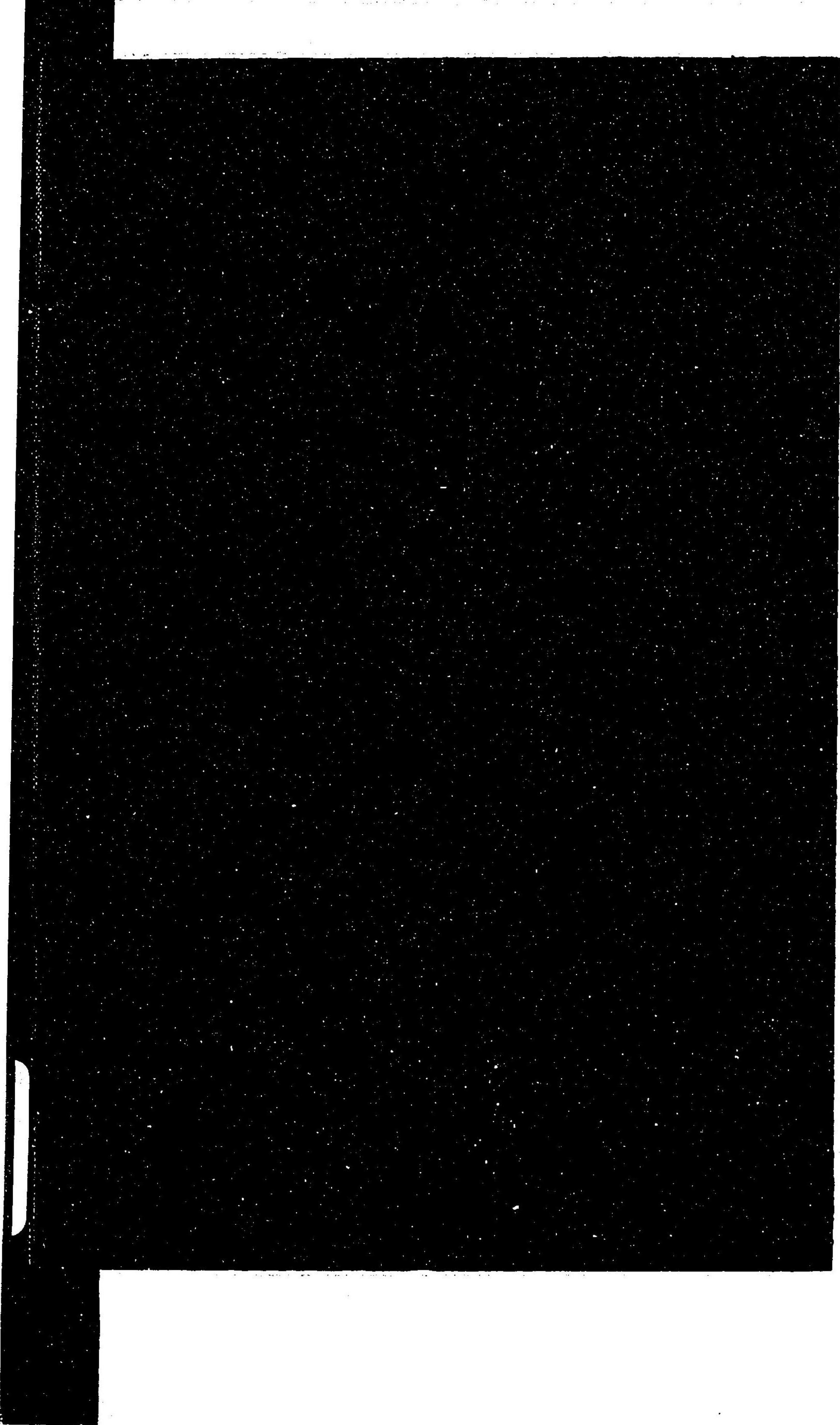
考物

及

和漢大家

●實ニ學生諸子ノ作文ノ師友タルモノ也(發行所ハ善誘社賣捌所ハ驛店ナリ)





特20

93

日本外史講義

国立国会図書館

000900-000-1

特20-93

日本外史講義

菊地 翁/述

M25

ACB-2301

